

インクルーシブな通信社会を目指して

聴覚障がい者雇用企業向け 字幕電話サービス

株式会社アイセック・ジャパン

-Caption helps your telecommunication life-



会社概要

聴覚バリアフリー社会の実現を目指すIT企業です。

- 2008年9月,ITを活用した社会貢献活動を事業とし、(株)アイセック・ジャパンが設立されました。
- 2012年日経BP誌「日本を救う次世代ベンチャー100社」の1つに選出されました。

会社名	(株)アイセック・ジャパン	株式会社シーコミュ
所在地	沖縄県うるま市名護市、那覇市	沖縄県うるま市
設立	2008年9月1日	2018年6月1日
資本金	3,990万円	40万円
代表者	一瀬 宗也	一瀬 宗也
業種	情報通信サービス	
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「e-ミミ」サービス ・電話リレ-サービス ・字幕電話サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・字幕電話サービス ・システム開発 ・英語対応

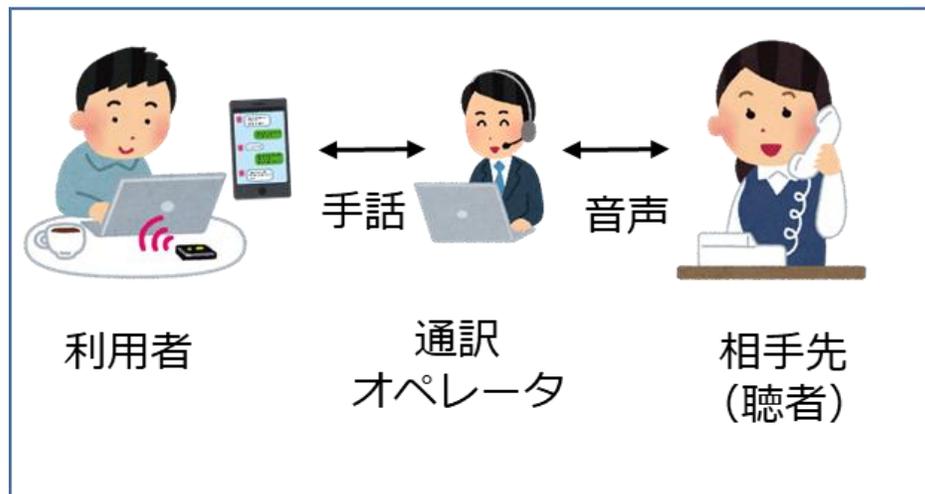


■2 事業の背景：電話リレーサービスの現状

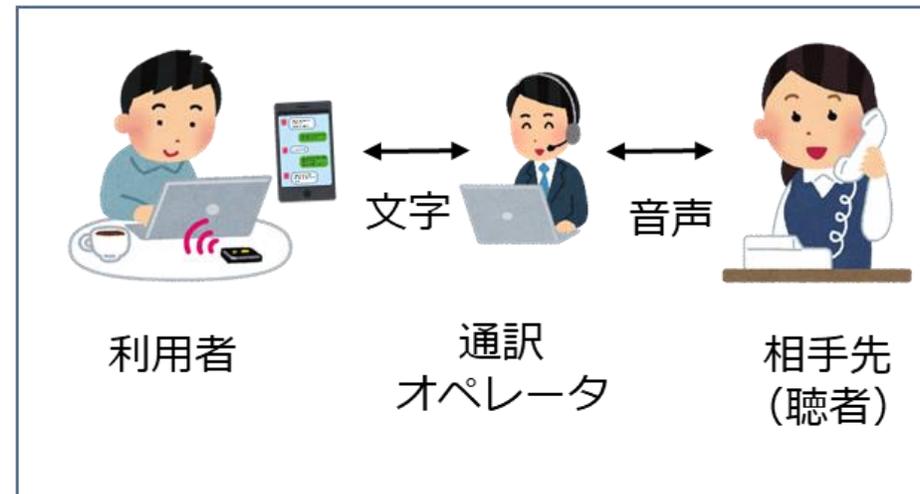
聴覚障害者の電話使用の解決策に電話リレーサービスがあります。

日本財団が2013年からモデルプロジェクトを実施してきましたが、株式会社アイセック・ジャパンは、文字リレーの通訳スペシャリスト集団として、参画していました。
2021年7月から、国の制度としてサービスが開始されております。

手話（ビデオ）リレーサービス



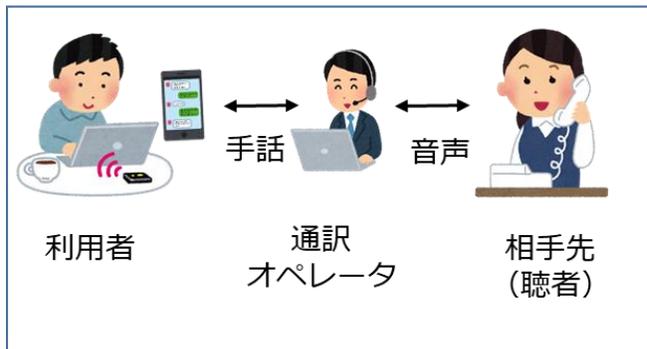
文字リレーサービス



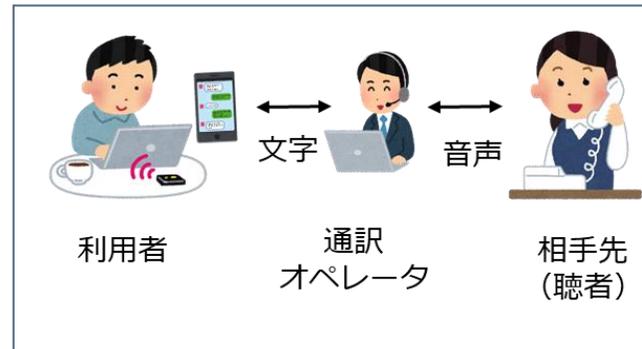
■2 事業の背景：電話リレーサービスの現状（ヨメテル）

1. 欧米では、聴覚障害者向けの電話サービスに手話（ビデオ）リレー、文字リレーに加えて、字幕電話の合計3種類のサービスがある。
2. 電話リレーサービスの国の制度化の際に、開始が見送られていた字幕電話についても、2025年1月から文字表示電話「ヨメテル」として、国の制度化が始まりました。聞こえには不自由な点があるが、話すことのできる聴覚障がい者にとっては、便利な仕組みであり今後拡大が期待されている。

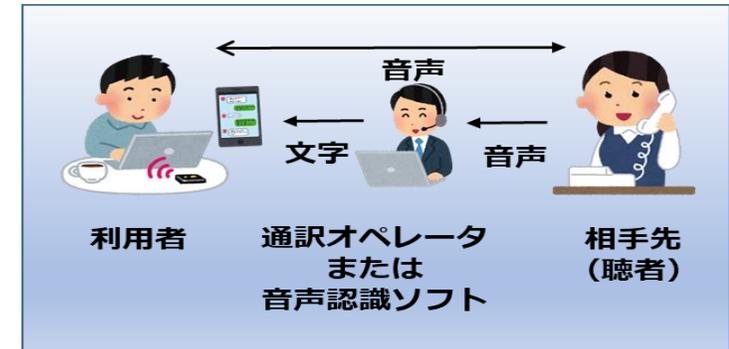
手話（ビデオ）リレーサービス



文字リレーサービス

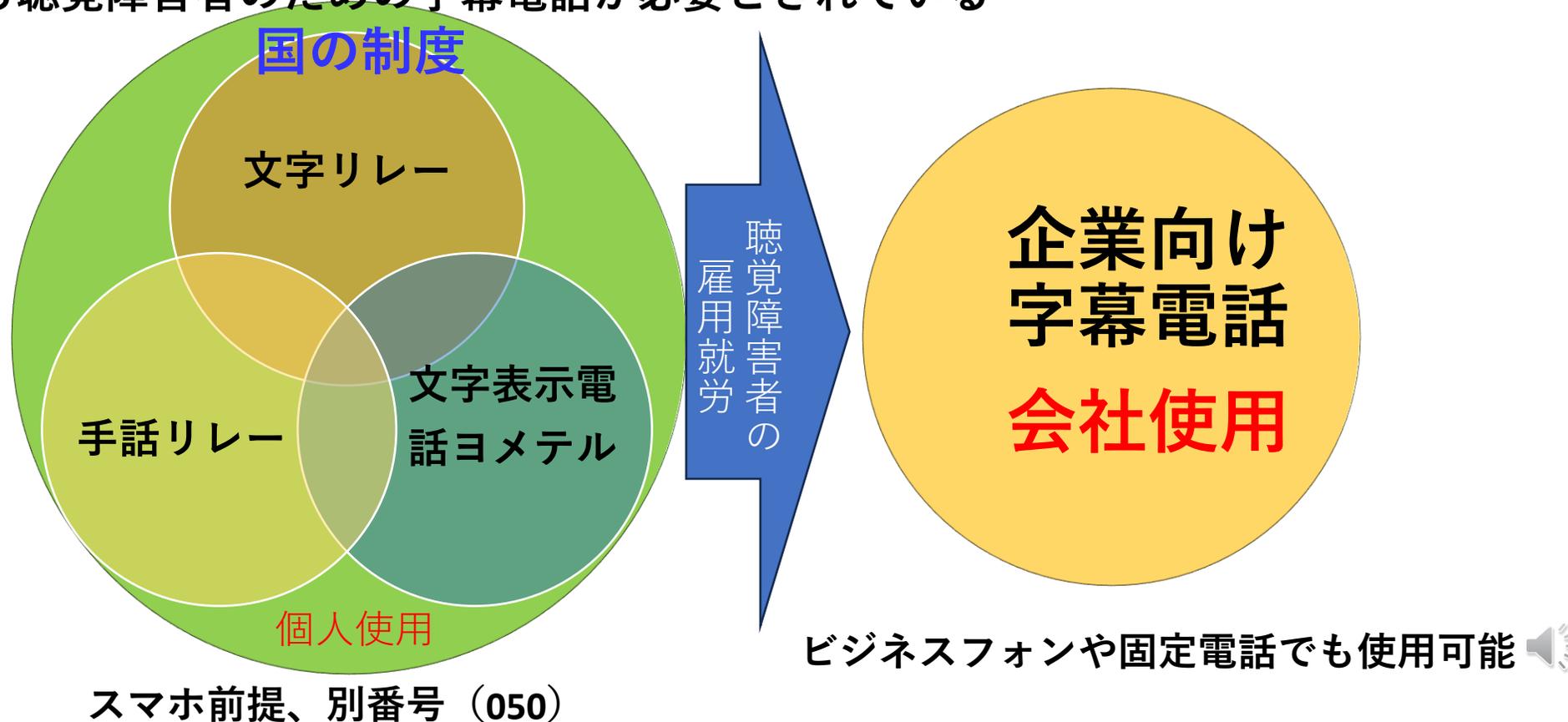


字幕電話サービス

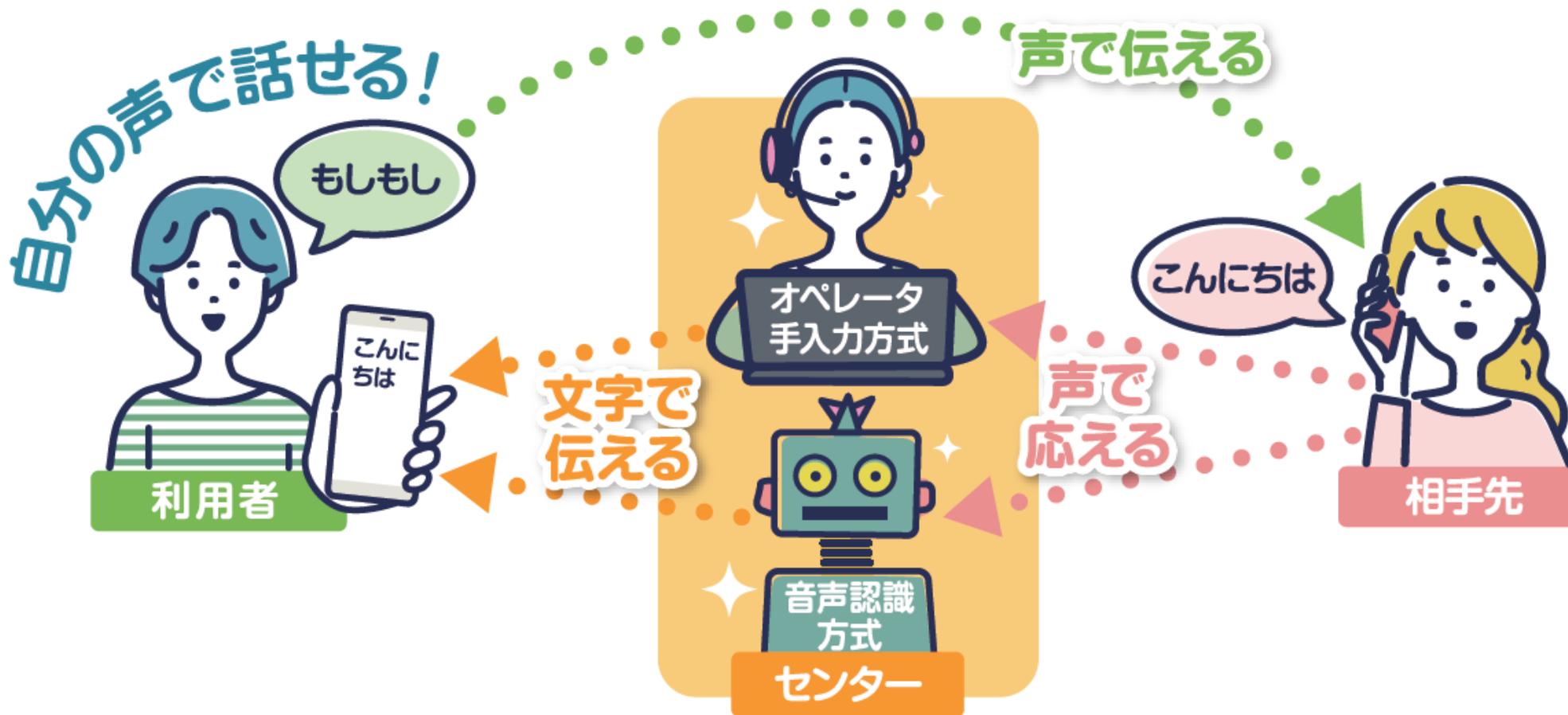


■ 2 事業の背景：電話リレーサービスの課題

現在、国の制度化で提供されている聴覚障害者向け電話サービスは、スマホでの使用が前提になっており、企業や商店の電話では使用できないため、就労している聴覚障害者のための字幕電話が必要とされている



文字化の方式を選べます



企業向け字幕電話（ビデオ）

企業向け字幕電話 着信編

株式会社アイセック・ジャパン

「企業向け字幕電話サービス」利用風景

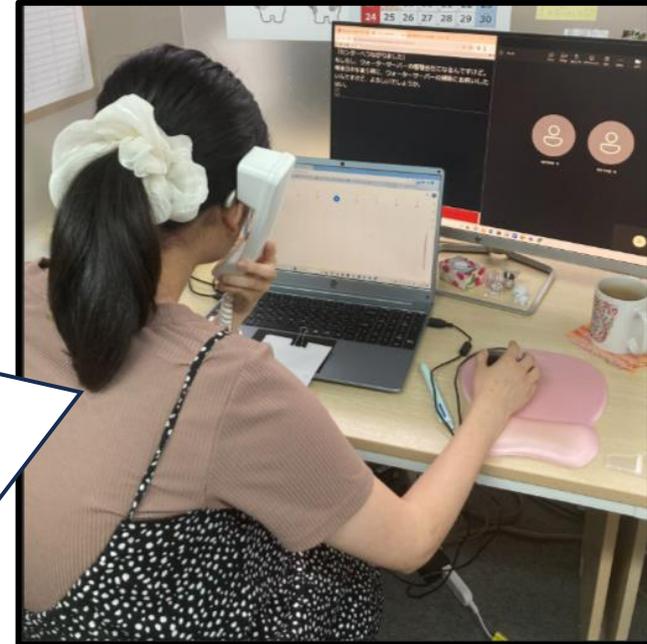
聴覚障害の社員も電話応対が出来る！

➤ 企業向け字幕電話の要件

- ・企業の電話番号がそのまま使える必要がある。
- ・健聴の社員も聴覚障害の社員も同じように使える必要がある。

➤ 利用者の声

- ・一般就労をしている聴覚障害者に就労の幅が広がったのではないかと個人的に思います。
- ・社内からも「オペレーターの文字が正確だね！！」「山口さんの様な聴覚障害者でも使えるね。希望が見えたね」ほんの少しですが、自信がついてきたかつ、希望が見えて嬉しく思います。
- ・障害の特性で固定電話での会話が相性が悪い、かつ信頼できる家族や友達しかスマホ電話（補聴器とbluetooth対応をして）をしたことがなかったので仕事などで電話することができないだろうと自分なりにコンプレックスを抱いていたので、周りの職員は出来て私はできなくて毎回辛かったですし、自分の障害が嫌になることがありました。





- ・プロジェクトに連携してくれる企業募集
- ・聴覚障がい者の雇用就労に全面的に協力推進してくれる企業・団体募集





株式会社アイセック・ジャパンは、

聴覚障がい者の雇用促進およびすでに就労されている聴覚障がい者の業務範囲の拡大を推進していただけるよう、企業向け字幕電のサービス提供を進めております。

高齢者や難聴者も聴者と同じように電話が使える、安心して就労できるインクルーシブな社会の実現を目指します。

どうか、ご支援をよろしくお願いいたします。

